

こどものはったつ相談室



子どもたちの健やかな発達や実りある学習に繋がるよう、
通級指導教室「まなびの教室」^{なつめてつや}夏目徹也先生によるコラムを
連載しています。



問合先 こども相談センター

TEL 6 2 6 - 1 1 6 5 FAX 6 2 6 - 2 1 8 7

第10回テーマ「見通す力・推察力」

■どんな力？

「見通す力・推察力」とは、物事の先を考えることができる力と言えるでしょう。例えば、持っている石を投げたら、どうなるのか推察できるようなことです。

うまく育っていないと

- 物を壊したり、周りの迷惑になったりする
- 日常生活でやることが分からなくなったり、手際が悪くなったりする
- 周りの状況をつかみにくく、関わりがうまくできない

うまく育つと

- 日常の生活で道具などをスムーズに使うことができる
- 周りとのコミュニケーションが良好になり、楽しく生活ができる
- 生活の中で安全に過ごすことができる

■生活の中で育てる

砂や粘土などの制作遊び、ままごとなどの「ごっこ遊び」

砂や粘土遊びなどは、自由に遊べる楽しさがあります。時々、作る前に「何を作るか」を決めてから作ってみましょう。どのように作ればよいかを考えることが大切だからです。はじめは上手にできなくても、回数を重ねることで、見通しを持つことができるようになります。

料理や工作などを楽しむ

料理や工作は、一つの完成品に向かって多くの過程が必要です。どのようにしたら、おいしくできるか、きれいに仕上がるかを考えることが大切です。料理や工作は、物として完成するので、子どもの達成感は大いいですね。

※「見通す力」は失敗を繰り返しながら、身に付いていきます。大人は、そっと寄り添って見守ることが大事です。

■通級指導教室の教材

見通す力・推察力を育てるために、通級指導教室で行っている教材を紹介します。是非参考にしてください。

※子どもには、考える場面を作り、じっくりと待ってあげれば考え、見通す力が育ちます。

①ホース渡り

水道のゴムホースの上を20歩で歩きます。19歩でも21歩でもだめです。20歩になるように、残りの距離と自分の歩幅を考えます。

②オセロなどのボードゲームやハノイの塔など考えるパズル

オセロは、ここに自分の黒を置いたらどれがひっくり返るか考えつつゲームを進めていきます。ちなみに「ドーナッツオセロ」のような幼児向きのオセロもあります。ハノイの塔は、どのように動かすことができるか考えます。

